

運動特性を踏まえた球技の授業づくり

～戦術的気づきに着目して～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

氏名 島田 稜央

楽しい体育を実現させるためには、効果や構造的な特性からではなく、楽しさとの関係から運動の特性を捉える機能的特性に着目することが重要である（佐伯, 2006）。機能的特性にはゲーム、克服スポーツ、ダンスに分類されており球技はゲームに該当する。ゲームの進展の中で生起する課題を見極め、その課題の解決に必要な技能を選択する能力を戦術的気づきと呼ぶ（Mitchell, 1994）。

本研究は、戦術的な気づきに着目した球技の授業が生徒の体育における好意的態度に及ぼす影響を目的とした。生徒全員が今持っている力でゲームに参加ができるよう手立てを工夫し、キャッチバレーを行った。その結果、ネット型特有の「落とす」「落とされる」の攻防が成立し、課題を捉え課題を解決していく過程で、様々な戦術的気づきを生み出すことができた。これにより、運動（球技）を戦術的な気づきに着目して楽しむことに繋がったと考えられる。